

「第一回 都市・建築学専攻・杜春会交流会」開催のお礼と報告

都市・建築学専攻長 石田壽一
杜春会会長 植松 康

日頃、都市・建築学専攻ならびに杜春会の運営、また、現役学生に対する厚いご支援をいただきありがとうございます。

本専攻と杜春会では、先にご連絡しておりました通り「都市・建築学専攻・杜春会交流会」を東北大学工学部 人間・環境系教育研究新棟におきまして2016年10月1日（土）に開催いたしました。当日は秋晴れの好天に恵まれ、第一部158名（うち学生89名）、第二部159名（うち学生84名）のご出席をいただき、大変盛況のうちに終わられたものと喜んでおります。ご多忙の中、お集まりいただきましたOBOGの先輩諸氏には改めて御礼申し上げます。また、数多くのOBOG有志の皆さま、企業から差し入れ・協賛金などの厚いご支援を頂戴いたしました。重ねまして御礼申し上げます。ありがとうございました。

第一部では、講演会「卒業生が語る都市・建築の魅力」として、藤野高志様（46回生・生物建築舎・デザイン）、小林光様（39回生・東北大学准教授・環境）、高橋伸一様（40回生・竹中工務店東北支店・構造）、小早川鮎子様（56回生・環境省・行政）からのそれぞれご講演が、また、小野田泰明先生（34回生）をコーディネーターとしてご講演者によるパネルディスカッションも行われました。短い時間ではありましたが、参加学生には自身のキャリアを考える上でのヒントが得られたものと期待しています。

第二部は、当初予定の研究棟テラスから工学部中央棟1階のドックに会場を変更し、芋煮交流会を行いました。学生には、特定の職種に留まらない数多くのOBOGの皆さまとの交流の機会となるように、職種ごとに作った島を学生が移動するワークショップ形式としました。専攻（学生・教員）と杜春会（OBOG）との直接的な交流な場となり、双方にとってより緊密なネットワークを築き、一体感を高めるきっかけの一つになったものと考えております。今回を第一回とし、継続的なイベントとして専攻・杜春会がともに育て行きたいと考えております。皆様におかれましては、継続的なご支援のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。



第一部（PD）ご講演の4名



第二部交流会



記念撮影

以上